

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 東急ハーフエストラップ鷹峯P棟 | 階数 | 3 |
| 建設地 | 京都府京都市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居、第二種住居地域 | 平均居住人員 | 140 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,640 時間/年 |
| 建物用途 | 工場, ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2013年10月 予定 | 評価の実施日 | 2013年5月1日 |
| 敷地面積 | 13,408 m ² | 作成者 | 杉原 高士 |
| 建築面積 | 2,837 m ² | 確認日 | 2013年5月29日 |
| 延床面積 | 8,345 m ² | 確認者 | 山井 英樹 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 緑や水盤を中心とした計画として、自然に触れ合う環境と地球環境負荷の低減に取り組んだ。 | その他 特になし | |
| Q1 室内環境 カーテンやブラインド及びペアガラスを採用して、熱負荷低減に配慮した。 | Q2 サービス性能 乾式壁工法を採用しフレキシビリティ性の向上に配慮した。 | Q3 室外環境 (敷地内) 周辺の住宅地に配慮して道路からの距離を50m以上取った計画とした。また周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。 |
| LR1 エネルギー 高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。 | LR2 資源・マテリアル ODP=0の冷媒を使用している。 | LR3 敷地外環境 交通負荷軽減のため、敷地内に十分な駐車スペースを確保している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される